

整備される福山臨海工業地帯

最近における産業は、その規模の拡大、構造の変化により、臨海工業地帯造成を盛んにした。広島県にあっては広島・呉を結ぶ広島・呉工業地帯、竹原を中心とする芸南工業地帯、三原・尾道・松永・福山を結ぶ備後工業地帯がその構想となっている。

昭和34年に広島県は広島港東部埋立工事に着手したが、昭和36年10月に日本钢管新製鉄所の誘致が決定し

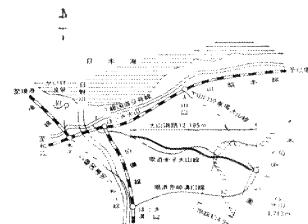
たので、福山臨海工業地帯整備事業に着手、今日に至っている。当事業は将来岡山県の水島工業地帯とともに瀬戸内海工業地帯の中心部をなすものと考えられている。県施工の土地造成工事の面積は734.8万m²、排水工事延長は4430m、航路整備工事(第1期分)は幅員300m、水深-14mであり、3602mにおよぶ道路整備工事は県と市によって施工される。この他、市施工の工業用水道事業として第1、2期工事の合計給水量300 000 m³/日の事業計画があり、777 400 m²の面積を誇る住宅団地造成事業がある。



埋立計画平面図

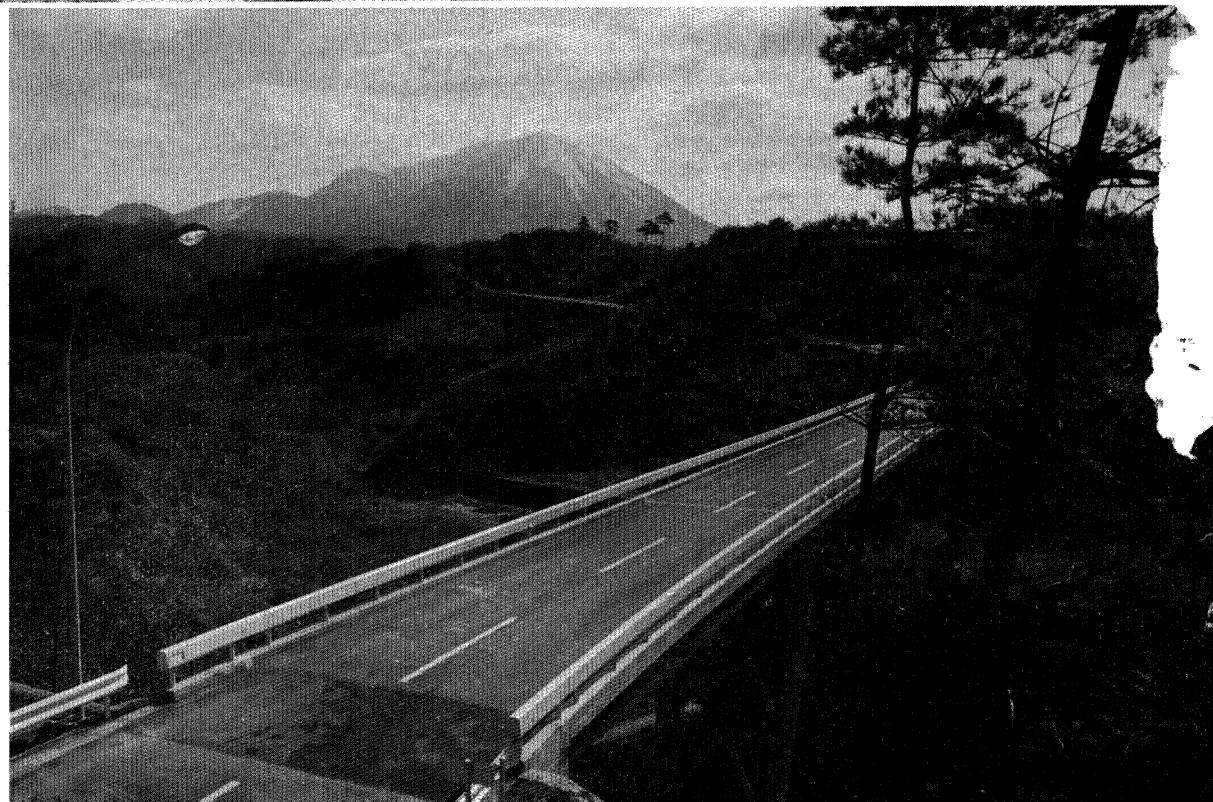
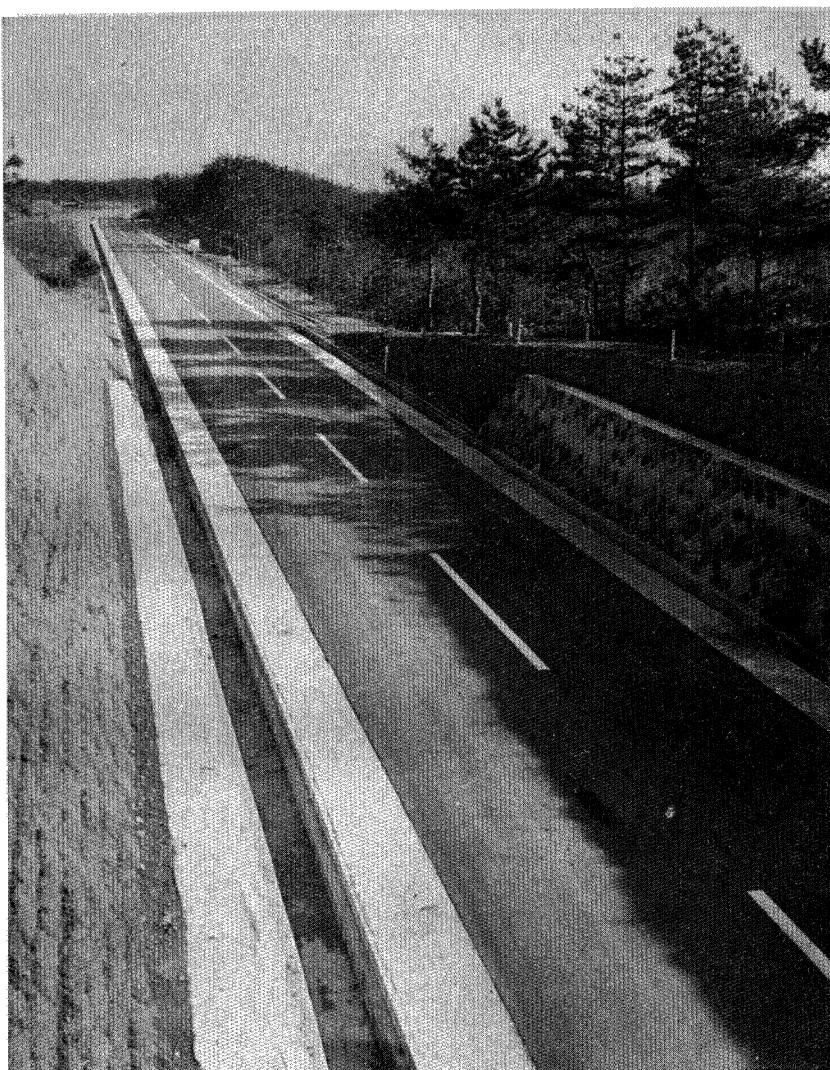


大山道路完成

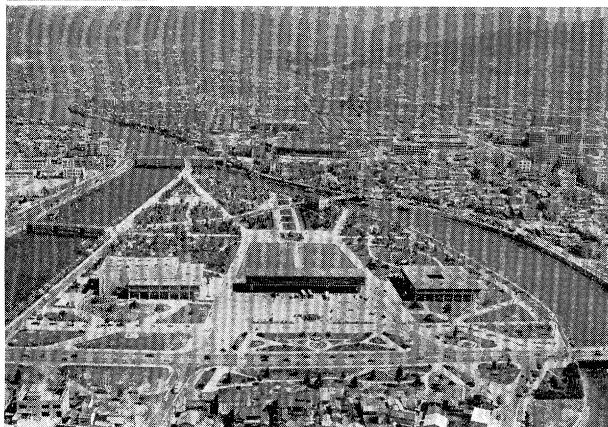


大山は別名を伯耆富士と呼ばれ、中国随一の山容とその美しさをして広く一般に知られています。ここは、四季を通じて訪れる人の多い観光地としても有名であり、その傾向は最近において著しい。大山国立公園の登山道路は主要地方道米子大山線、県道大山口停車場大山線、および県道溝口赤崎線があるが、幅員が狭いこと、屈曲の多い急こう配の砂利道であることに起因して自動車交通の障害となっていた。この障害を除去するため、日本道路公団が5億5020万円の総工費をかけ、この程完成をみたのが大山道路である。

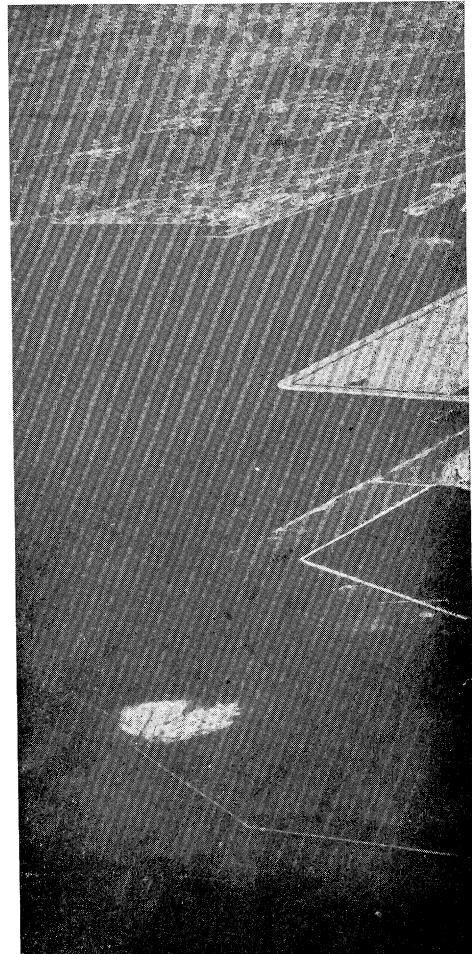
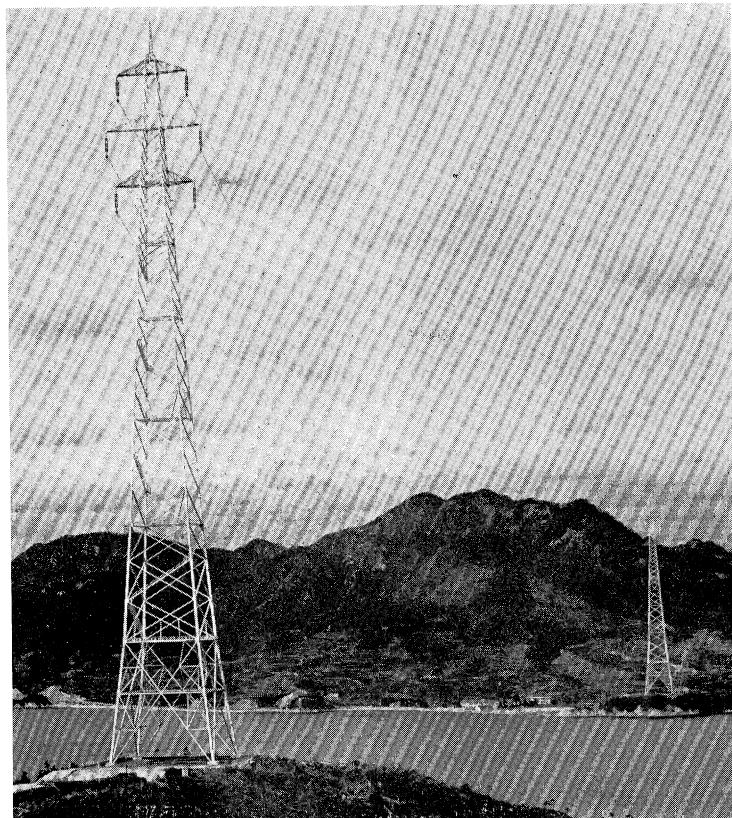
(詳細は本誌ニュース欄参照)



中　　玉　　四　　國　　に　　お　　け　　る　　開　　発　　の　　段　　階　　に　　よ　　せ　　て



世界最初の原爆の被害を受けた広島市は広島県の西部、広島湾の湾奥にある。市街は太田川の三角州上にあり、太田川の分流、猿猴（えんこう）川、京橋川、元安川、本川、天満川および太田川放水路によって7地区に分かれ、その間は多くの橋によって結ばれている。写真一上は建設が急がれてい
る新広島国道（本文 19 ページ参照）
であり、写真一下は復興なった広島市の中心部である。



中国・四国における開発の展望 によせて

写真一左上は南四國の玄関として知られる高知港で、現在航路しゅんせつをかね、工業用地造成が進められている。

写真一左下は瀬戸内海を渡る中四幹線で、写真一右は水島工業地帯の特長ある土地造成事業状況

(本文 31 ページ参照) を昨年 8 月 13 日撮影したものである。写真一下は同じ水島工業地帯を写したもので上の写真はこの写真の左側にあたる。



写真左・日東航空株式会社提供



水上を走る ハイウェイ

首都高速道路 8 路線中、海を見ながら、また、海上橋を走るのは昨年 12 月 20 日に開通した鈴ヶ森一本町・呉服橋間にとどめをさす。本線は今秋開催される東京オリンピックにあって、羽田と競技場を結ぶべく鋭意建設が急がれているもの一部で、一昨年 12 月に開通した京橋一芝浦間 4.5 km に加え、13.4 km が延長開始されたものである。本線開通にともない、第一京浜国道から入った車は約 12 分で 1 号線本町 3 丁目と 4 号呉服橋まで走行できる。写真一上、前方に見えるのが東京電力品川火力発電所であり、道路右側に見えるものが建設中のモノレール鉄道である。写真一中は芝浦口付近を写したもので、写真一下は鈴ヶ森入口付近を上空からみたものである。左側に見える道路が第一京浜国道である。



写真一上、写真一中・首都高速道路公団広報課提供

写真一下・朝日新聞社提供

